

# 令和2年度 再評価委員会

事業名：道路改良事業

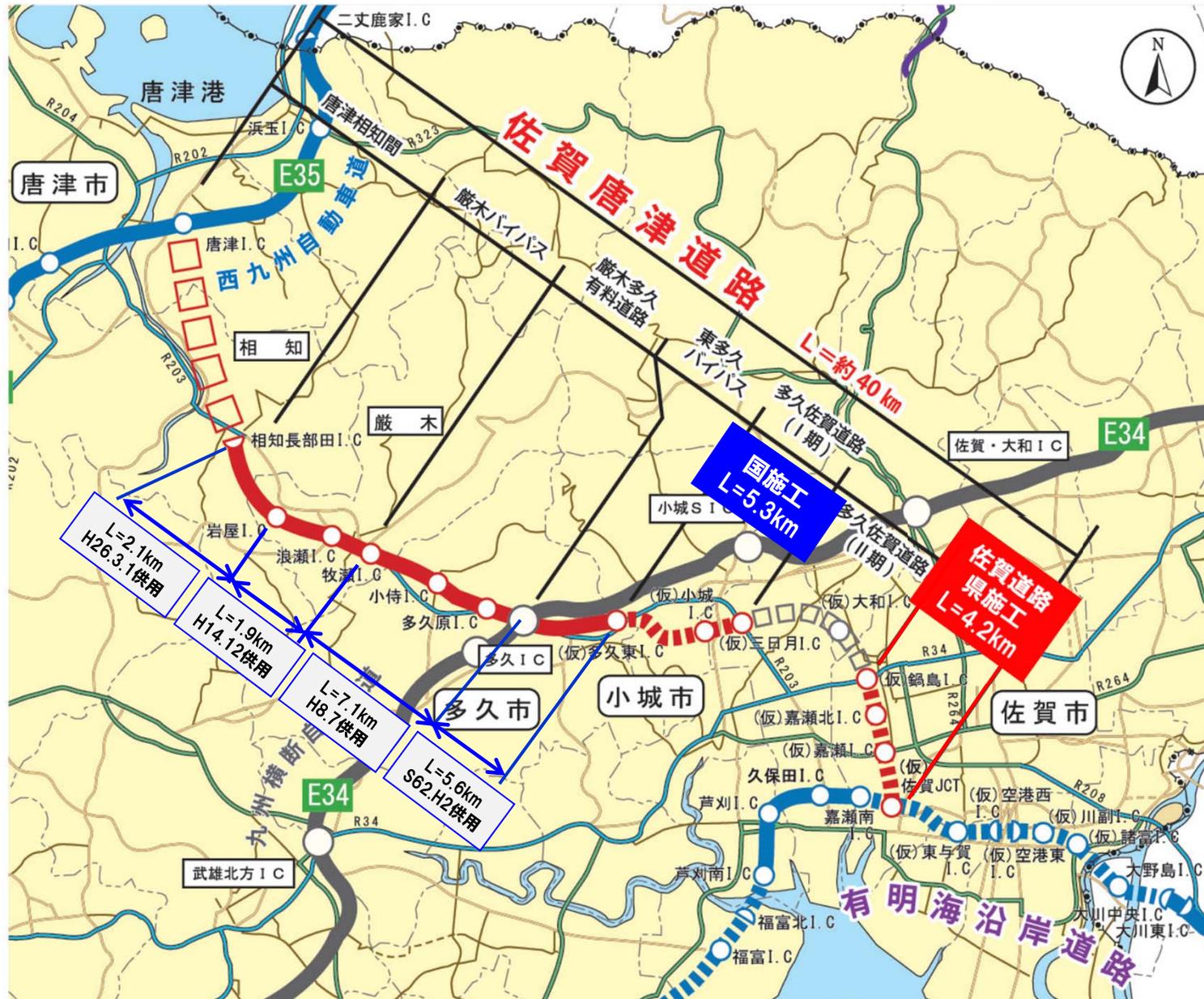
路線名：一般国道208号(佐賀道路)

事業地：佐賀市鍋島町森田  
～佐賀市嘉瀬町中原

採択後5年経過のため  
(国土交通省の再評価実施要領より)

# 位置図

➤ 唐津市と佐賀市を結ぶ延長約40kmの地域高規格道路

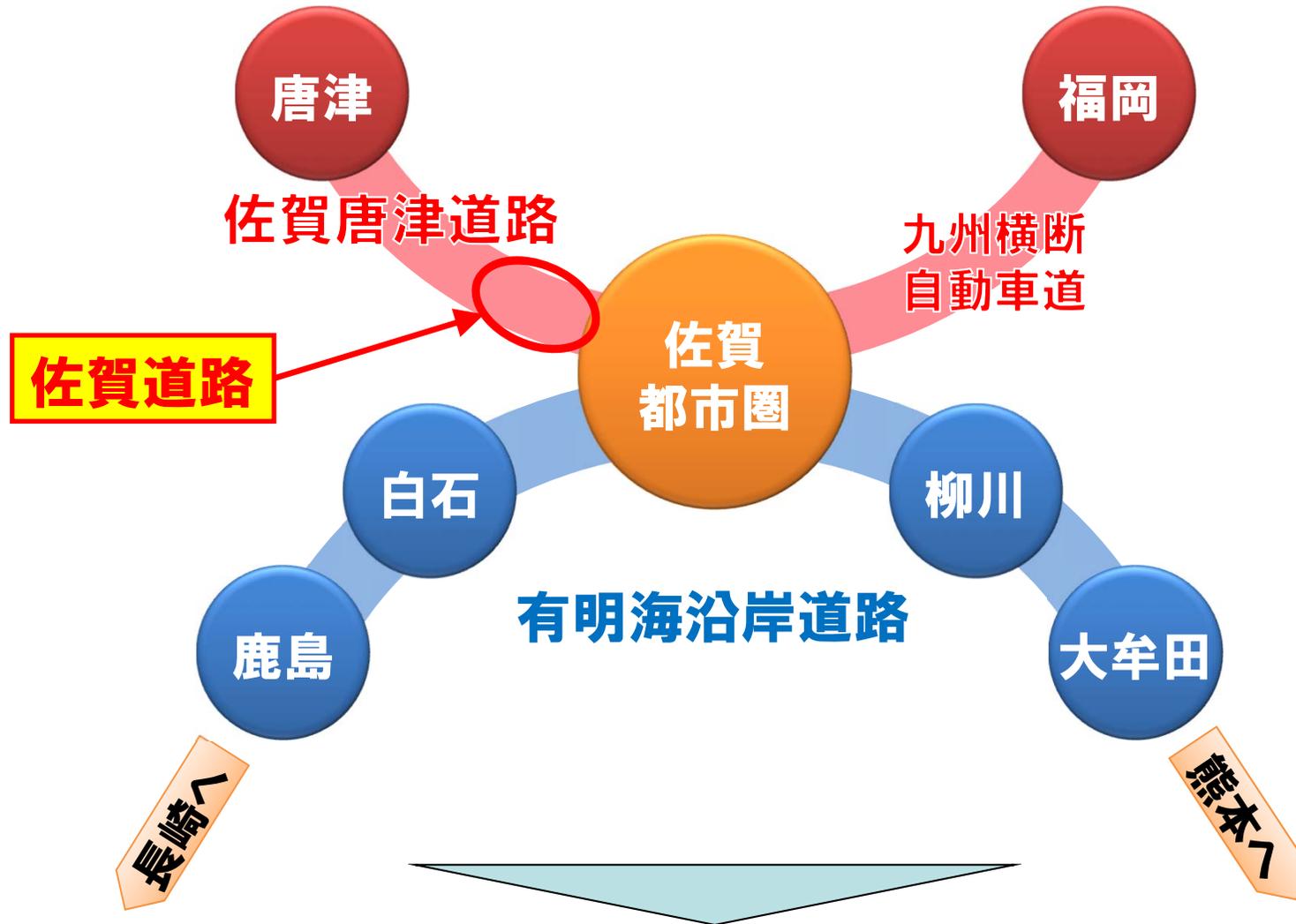


# 事業目的

- 産業振興・観光振興の促進
- 時間短縮・定時性の確保
- 交通事故減少・交通渋滞緩和

# 事業目的

## ○産業振興・観光振興の促進



佐賀道路の整備によって産業振興・観光振興の促進

# 事業目的

## ○時間短縮・定時性の確保

佐賀唐津道路の整備により、佐賀市～唐津市間の所要時間が

現道利用：86分 → 将来：65分  
(一般道) (推計値)

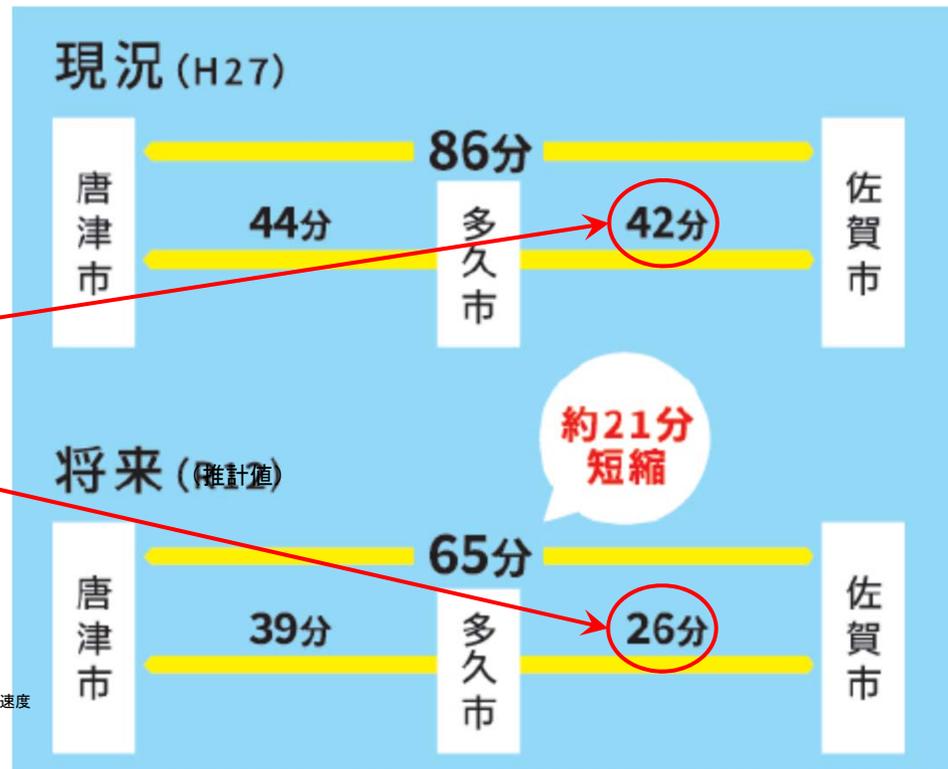
約21分短縮！

地域間の交流支援  
に大きく寄与！

佐賀市～多久市間  
約16分短縮



※市役所間の所要時間(多久市は最寄ICまでの所要時間)  
※現況はH29.7時点、将来は佐賀唐津道路全線を利用  
※所要時間算出時の速度は以下の通り  
・佐賀唐津道路:[現況]H27道路交通センサスの混雑時旅行速度  
[将来]規制速度  
・その他道路:道路交通センサスの混雑時旅行速度  
※資料:H27道路交通センサス(国土交通省資料より)



▲所要時間の変化(佐賀市～唐津市)



# 事業概要

全体事業費	368億円
工期	平成28年度～令和8年度
全体延長	4.2km
計画幅員	14.0(20.5)m
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良工 L=4.2km</li> <li>・橋梁工 N=4橋(50m以上)</li> <li>・舗装工 L=4.2km</li> <li>・測定 N=一式</li> <li>・用地補償 N=一式</li> </ul>
費用対効果	1.97

	令和 元年度まで	令和 2年度	令和 3年度以降
事業費(億円)	19.1	26.4	322.5
進捗率(%)	5.2	12.4	100.0
用地進捗率(%)	17.1	36.5	100.0

# 令和2年 現地状況

佐賀道路航空写真

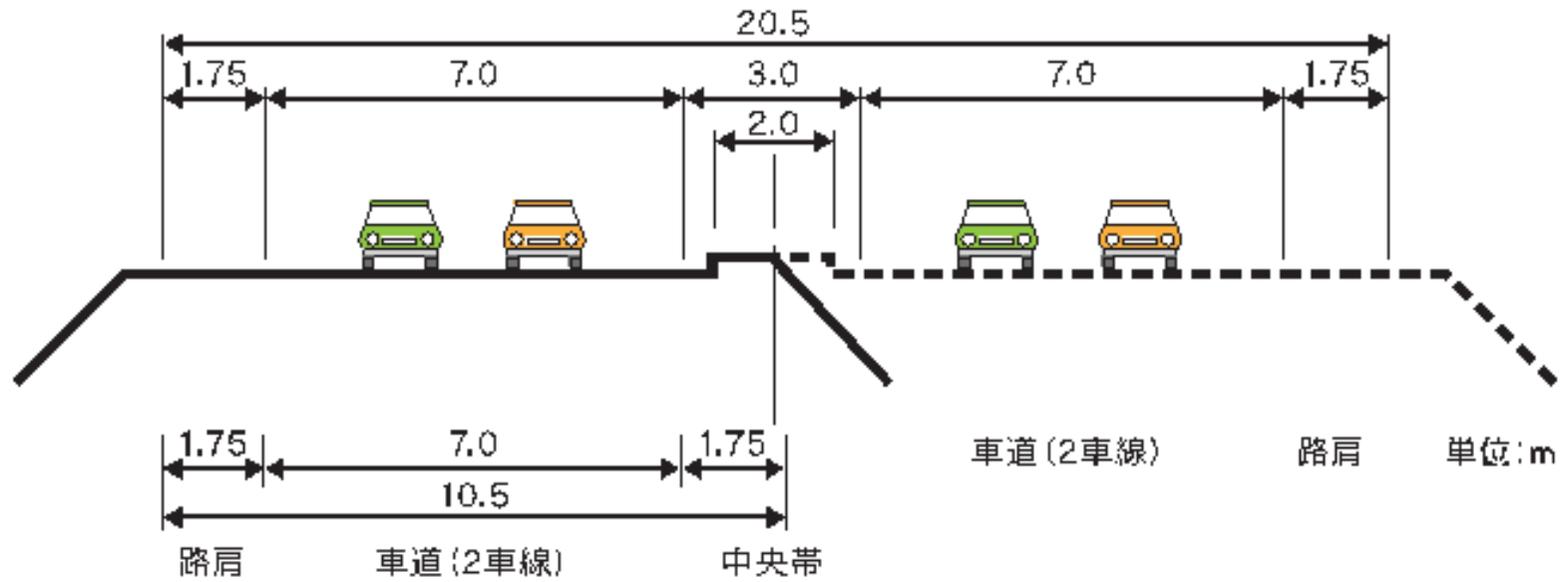


地盤改良工事の状況(佐賀JCT～嘉瀬IC間)



# 横断図

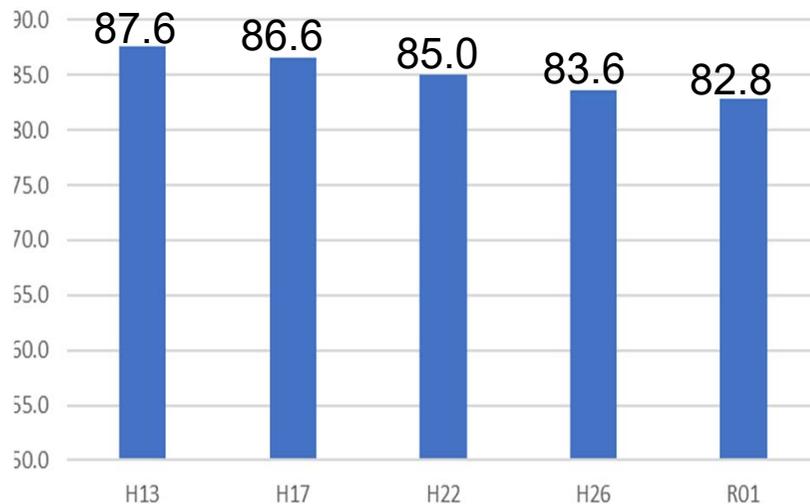
計画



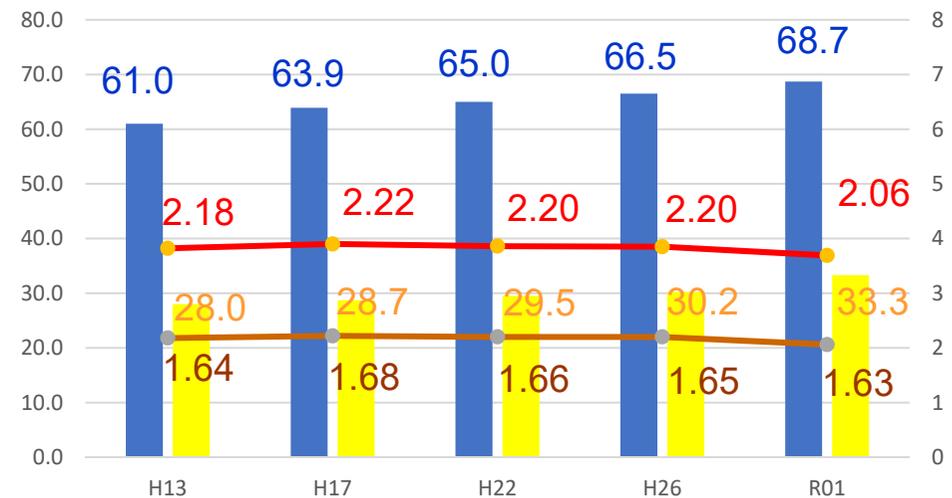
# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 佐賀県の人口は減少しているものの、核家族化等により世帯数は増加傾向にあり、自動車保有台数は増加している。1世帯あたりの自動車保有は九州平均を上回っている。
- また、公共交通機関が充実していない本県においては、移動手段として自動車に頼らざるを得ない状況であり、自動車への依存度は高い。

佐賀県の人口の推移 (単位:万人)



佐賀県の自動車保有台数の推移



青: 自動車の保有台数(万台)

黄: 世帯数(万世帯)

赤: 自動車保有台数(1世帯あたり台数) 佐賀県

茶: 自動車保有台数(1世帯あたり台数) 九州平均

# 費用対効果の要因の変化

費用便益比(B/C)=1.97

## 【便益】

- ・走行時間短縮便益 = 454.5 億円
- ・走行経費減少便益 = 96.1 億円
- ・交通事故減少便益 = 39.7 億円
- 合計 = 590.3 億円

## 【費用】

- ・事業費 = 296.2 億円
- ・維持管理費 = 3.9 億円
- 合計 = 300.1 億円

# コスト縮減や代替案等の可能性

## (コスト縮減)

- 本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。
- 他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト縮減を図る。

## (代替案の検討)

- 特に無し

# 対応方針(事業課案)

- 当該箇所**の事業の必要性**に変化はなく、  
産業・観光振興、交通の円滑化、交通安全の  
向上、災害時の緊急輸送道路や代替道路と  
しての機能確保を図るため、事業を継続したい。